

畜産ネットワーク ちば

2011年5月16日
第21号

発行所 (社) 千葉県畜産協会
〒260-0026
千葉市中央区千葉港1番3号
千葉県畜産協会内

発行人 森 英介

就任にあたってのあいさつ



千葉県農林水産部
部長 永妻 能成

平成23年4月1日付で
千葉県農林水産部長を拝命
いたしました永妻でございます。

千葉県畜産協会の会員の皆様には、日ごろから本県
畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被害を受けた方
々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、本県は全国でも有数の畜産県であり、平成
21年畜産産出額は、一千億円を超え、生乳で全国第
3位、豚で第4位、鶏卵で第2位を占めるなど、畜産
全体で第6位の地位を維持しております。

しかしながら、現在の畜産を取り巻く情勢は、飼料
価格の高騰、食肉相場の低迷、牛乳離れによる消費減
退傾向などに加え、高病原性鳥インフルエンザが発生
するなど、依然として厳しい状況が続いております。

県としては、これら問題を一つ一つ着実に解決して
いくため、今年度は、主に次の対策に取り組んでまい
ります。

1. 県産食肉の知名度向上対策として

(1) 県産豚肉のキャッチコピー及び共通名称「チバ
ザポーク」並びにロゴマークを活用し、県産豚肉の
知名度向上と販売促進活動を行います。

(2) 「ダイヤモンドポーク」の増産と高品質化を
図り、県産豚肉のトップブランドとして位置づけ、県

産豚肉のイメージ向上を図るためのけん引役となる
よう支援します。

(3) 新たな取り組みとして、県産牛肉の知名度向上
と販売促進を図るため、戦略の構築と体制づくりを
推進します。

2. 養豚の経営安定対策として

豚肉の枝肉価格下落時に基準価格との差額の8割を
補てんする国庫事業「養豚経営安定対策事業」に係る
生産者積立金の一部を支援することで、セーフティネ
ットの維持強化による養豚経営の安定化を図ります。

3. 耕作放棄地を解消し、自給飼料の生産拡大を図るため

離農等により増加傾向にある耕作放棄地を再生利用
した飼料生産基盤の拡大と、高性能機械の導入による
低コスト生産を進め、酪農、肉用牛経営の安定化に取
り組みます。

4. 危機管理対策として

口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなど発生防止の
ため、地域ぐるみの自衛防疫体制の確立を図るととも
に、万一の発生に備えた防疫演習、資材の備蓄や検査
体制の強化など迅速的確な初動防疫体制の整備に努
めてまいります。

また、現在、福島県第一原子力発電所の事故に伴う
放射性物質の問題に対応するため、原乳や飼料作物な
どのモニタリング検査による実態の把握に努めている
ところですが、今後も風評被害が起らないように情
報の公開に努めてまいります。

最後になりますが、千葉県畜産協会会員の皆様方
の益々の御発展を祈念申し上げまして、就任のごあいさ
つとさせていただきます。

も く じ

- ・ 就任にあたってのあいさつ
千葉県農林水産部 部長 永妻 能成 …………… (1)
- ・ 平成22年度通常総会開催 …………… (2)
- ・ 平成22年度畜産協会事業推進体制 …………… (2)
- ・ 畜産経営安定対策の要件緩和等について(震災対応) … (3)
- ・ 肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン) 事業
『直接交付方式』がスタートします! …………… (4)
- ・ 平成23年度養豚経営安定対策事業 …………… (5)
- ・ 平成23年度肉豚生産安定対策事業(県単事業) …………… (5)

- ・ 平成23年度千葉県畜産関係機関一覧表 …………… (6)
- ・ 東日本大震災：義援金募金活動で
『被災地を支援しようinポーク2011』 …………… (8)
- ・ 千葉県は高病原性鳥インフルエンザの終息宣言を発表 … (9)
- ・ NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 … (10)
- ・ ちば畜産レディースネットワーク会報 …………… (11)
- ・ 2010年 世界農林業センサス結果について …………… (12)
- ・ 「食の安心・安全」は「法令遵守」から …………… (12)
- ・ 編集後記 …………… (12)

平成 2 2 年度第 2 回通常総会開催

平成 2 3 年 3 月 2 8 日、千葉県畜産会館において、奥澤会長代理出席のもと通常総会が開催され、平成 2 3 年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全 5 議案が原案通り承認されました。

2 3 年度も事業費の削減・事業の廃止があるため協会の運営は非常に厳しいものとなりますが、協会資産を活用し独自事業を展開する計画を立てており、引き続き畜産経営の安定化と健全な発展を目指してまいります。

平成 2 3 年度畜産協会事業推進体制

以下の通りの体制で事業推進を図ります。よろしくお願いたします。

【 理 事 会 】				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>会長 理事 森 英介</p> <p>会長代理理事 奥澤 捷貴</p> <p>副会長</p> <p>理事</p> <p>専務理事 米倉 義視</p> <p>常務理事 新城 恒二</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>【 委 員 会 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 畜産物価格補償審議委員会 ◆ 畜産衛生評議委員会 ◆ 養豚振興委員会 ◆ エコフィード利用推進委員会 </div> </div>				
【 事 務 局 】				
部署・TEL・FAX	職 名	氏 名	主な業務の内容	
〔 総務部 〕 TEL:043-242-5417 〔 総務課 〕 TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255	次長	奥住 英雄	・庶務・会計に関すること。 ・経理処理に関すること。 ・新公益法人への移行準備に関すること。	
	参与	佃 幸子		
	主査	長谷川 洋子		
	主事	槌屋 健太郎		
	臨時職員	胡口 常代		
〔 企画経営部 〕 TEL:043-242-6333	部長	榛葉 雅和	・肥育経営安定対策に関すること。 ・生産者・流通加工者・消費者との相互理解促進に関すること。 ・情報の発信に関すること。	
	(兼)次長	奥住 英雄		
	課長	大崎 道康		
	(兼)主事	小倉 崇司		
	臨時職員	高橋 真理		
	臨時職員	滝口 麻美		
	課長	武田 善秀		・担い手育成支援に関すること。 ・畜産経営支援・指導に関すること。 ・牛群検定成績の活用に関すること。 ・各種団体指導に関すること。
	嘱託職員	高梨 勝		
(兼)臨時職員	胡口 常代			
〔 生産振興部 〕 TEL:043-241-3851	部長	加藤 脩三	・肉用牛生産振興に関すること。 ・肉用子牛生産者補給金制度に関すること。 ・肉用牛繁殖経営支援に関すること。	
	主事	小倉 崇司		
	臨時職員	鈴木 恵子		
	臨時職員	松井 恵美子		
	主査	金杉 文一		・豚の改良に関すること。 ・養豚振興に関すること。 ・養豚経営安定対策に関すること。 ・生産者団体指導・協力に関すること。
	(兼)主事	槌屋 健太郎		
臨時職員	鈴木 真理子			
〔 衛生環境部 〕 TEL:043-241-1738	部長	薫田 耕平	・堆肥の生産流通に関すること。 ・家畜排泄物法、コンプライアンスに関すること。	
	(兼)課長	武田 善秀		
	臨時職員	高橋 早苗		・家畜予防接種の推進に関すること。 ・家畜防疫互助基金に関すること。 ・生産農場清浄化支援対策に関すること。 ・死亡牛のBSE検査処理円滑化に関すること。
	臨時職員	石山 操		
【 畜産団体事務局 】				
★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 ★千葉県養蜂協会 ★千葉県馬事畜産振興協議会 ★ナイスポークチバ推進協議会 ★ちばエコフィード利用推進会議 ★千葉県自家検定推進協議会 ★ちば畜産レディースネットワーク ★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター				

畜産経営安定対策の要件緩和等について (震災対応)

対象地域において、以下の畜産経営安定対策の要件緩和・特例措置が実施されます。

肉用子牛生産者補給金制度

①飼養開始月齢の要件を緩和(2ヵ月齢未満 → 5ヵ月齢未満)

対象となる子牛範囲：

- ・平成23年1月12日生まれ以降の牛（平成23年3月11日に個体登録申込の期限を迎えた牛から）
- ・青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県、長野県の11県で生産された牛

対象となる契約生産者：上記11県から牛を導入した契約生産者もしくは自家生産した契約生産者

②生産者積立金(負担金)の納付期限の延長(6ヵ月齢まで → 9ヵ月齢まで)

対象となる子牛範囲：平成22年9月12日生まれ以降の牛（平成23年3月11日に負担金の納付期限を迎えた牛から）

対象となる契約生産者：別記対象地域に住所を有する契約生産者

お問い合わせ：社団法人千葉県畜産協会 酪農肉牛課 [担当] 小倉
TEL 043-242-8299 FAX 043-238-1255

肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)

①生産者積立金(負担金)の納付期限を延長(2ヵ月間)

②り災証明書の発行を受けた生産者の負担金を免除

対象となる範囲：平成23年3月1日から6月30日までの間に納付期限が到来する生産者積立金(負担金)

対象となる契約生産者：別記対象地域の契約生産者

お問い合わせ：社団法人千葉県畜産協会 企画課 [担当] 大崎
TEL 043-242-6333 FAX 043-238-1255

養豚経営安定対策

①り災証明書の発行を受けた生産者の負担金を免除

対象となる範囲：平成22年度第4四半期(平成23年1月～3月)の生産者負担金

対象となる契約生産者：別記対象地域の契約生産者

②販売確認申出書の提出期限の猶予

対象となる範囲：平成22年度第4四半期(平成23年1月～3月)分の販売確認申出書

対象となる契約生産者：り災により証拠書類が流失した契約生産者(JA、と畜場等がり災した場合も含む。)

③り災証明書の発行を受けた生産者の平成23年度養豚経営安定対策事業への参加申し込みの猶予

別記対象地域の養豚事業者で養豚経営安定対策に参加を希望する場合、事業実施期間途中での参加ができます。

お問い合わせ：社団法人千葉県畜産協会 養豚課 [担当] 金杉、槌屋
TEL 043-241-3851 FAX 043-241-3853

別記：東日本大震災に係る災害救助法適用市町村(千葉県)

千葉市美浜区、旭市、習志野市、我孫子市、浦安市、香取市、山武市、山武郡九十九里町
※り災証明書の発行方法や時期等は、市町村によって異なりますので、お近くの役所、役場にご確認ください。

肉用牛肥育
農家の皆様へ

肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業の『直接交付方式』がスタートします！

◎現行の制度に未加入の肉用牛生産者は**6月末まで**に申請すると加入できます。(配合飼料価格安定基金への加入も必要です。)

「直接交付様式」とは？

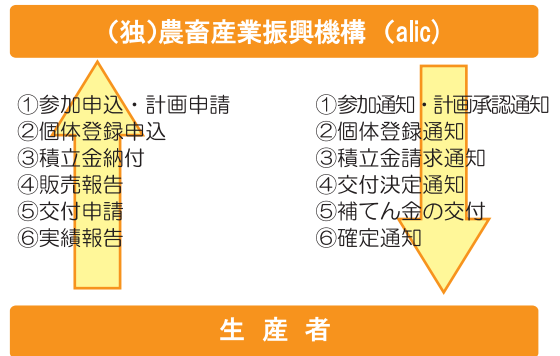
1. 独立行政法人農畜産業振興機構(以下alic)が生産者の積立金を管理し、補てん金をalicから生産者に直接交付する方式です。
2. 生産者一人一人が、事業実施主体となります。
3. 補てん金の額は、現行の方式と同時に、基金の残高によっては減額されることがあります。

現行の方式とは何が違うのか？

1. 生産者積立金の拠出時に、生産者積立金を損金に算入することはできません。
2. alicは、生産者積立金を毎年度精算します。

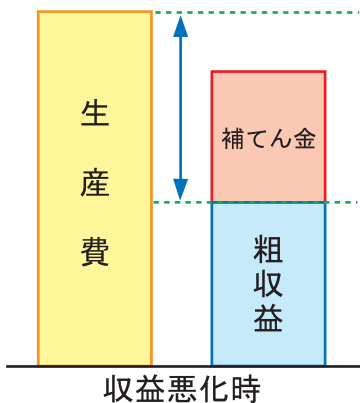
どんな手続きが必要なのか？

1. 生産者が直接alicと図のような手続きを行います。



新マルキン事業の仕組み

◎四半期ごとに肥育牛1頭当たりの平均粗収益(全国平均)が平均生産費(全国平均)を下回った場合、その**差額の8割が補てん金**として交付されます。



◆平成23年度の肥育牛1頭当たりの生産者積立金の額

品種	23年度	22年度	差額
肉専用種	13,000円	20,000円	7,000円下げ
交雑種	25,000円	27,800円	2,800円下げ
乳用種	18,000円	15,000円	3,000円上げ

適用期間：平成23年4月～平成24年3月

現行の方式の加入者が直接交付方式に変更する場合の留意点

①現行の契約は解約することになります。

直接交付方式に加入する前に、現行の補てん金契約を解約することになります。それまでに積み立てた生産者負担金(生産者積立金)は返還されません。

②生産者負担金(生産者積立金)の確定申告の扱いが変わります。

22年度は損金算入が出来ましたが、直接交付方式では農畜産業振興機構で管理する基金に納付した生産者負担金(生産者積立金)は損金に算入することはできません。このため、23年度からは生産者積立金を拠出した際、経理上、仮払金又は預け金として処理することになります。

③生産者が事業実施主体となります。

直接交付方式に加入するということは、加入者個々が事業実施主体となります。

このため、これまで県団体が行っていた事務手続きや会計検査への対応などを、生産者自らの責任において対応することとなります。

◆お問い合わせ先◆ 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産経営対策部 肉用牛肥育経営課
電話 03-3583-8630



平成23年度養豚経営安定対策事業

◎養豚経営安定対策事業とは

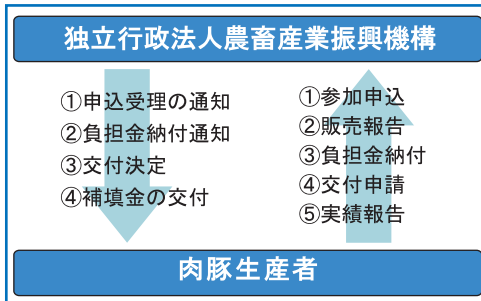
養豚経営の安定を図るため、豚枝肉平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に、生産者の抛
出と国の助成により造成された基金から、その差額の8割を補填金として交付する事業です。

◎事業の運用・手続きは全国一律！

(独)農畜産業振興機構から肉豚生産者に補填金を直接交付！

今までの都道府県団体を経由する方式がなくなり、(独)農畜産業
振興機構(以下「機構」という。)から生産者に補填金を直接交付す
る「直接交付方式」のみとなります。(右記図)

書類の送付や負担金の納付、補填金金の交付を、原則として生産者
のみなさんと機構が直接やりとりします。



養豚経営安定基金について

- 生産者の抛出と国の助成により造成された養豚経営安定基金(生産者と国の負担割合1:1)が、機構に設置されます。
- 補填金は、機構から生産者に直接交付されます。

業務対象年間について

- 業務対象年間は、6年間(平成23年~28年度)です。途中加入は、出来ませんので、この機会にお申し込みいただくよう、ご注意ください。

生産者負担金について

- 事業対象頭数は、平成20年度の出荷頭数と同程度です。
なお、生産者負担金単価は、毎年度設定されます。
- 業務対象年間終了後の無事戻しはありませんが、基金残が生じないように生産者負担金を調整をします。

事業申込要件等について

- 耕畜連携又はエコフィードの活用の取組に努めようとする養豚経営者。(大企業は除く。)
※原則として、配合飼料価格安定基金への継続加入が必要です。
- 参加申込みは、**平成23年5月31日まで**
※書類の作成事務等を、JA、荷受組合、養豚団体等に委託することもできます。

◎事業説明会について

事業周知については、(独)農畜産業振興機構の補助を受け、ナイスポークチバ推進協議会が実施することとなりました。4月下旬~5月にかけて、県域説明会・地域説明会を開催する予定ですので、多くの方の参加をお待ちしております。(養豚課 金杉)



平成23年度肉豚生産安定対策事業 (県単事業)

◎肉豚生産安定対策事業とは

肉豚価格低落時に、補填金を交付することにより養豚農家の経営安定を図る養豚経営安定対策事業において、農家が負担する積立金の一部を助成する事業です。(22年度は1頭当たり80円)(養豚課 金杉)

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。



平成23年度 千葉県 畜産関係機関一覧表

農林水産部 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1			部署			職名			氏名					
畜産課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-222-3098			病理生化学課			上席専門員 橋本 能子 主任技師 関口 真樹 技師 福井 陽士 技師 萩原 妙子			細菌ウイルス課					
東部家畜 保健衛生所 〒283-0064 東金市川場1105-3 TEL:0475-52-4101 FAX:0475-52-3335			課長事務取扱 陰山 潔 上席専門員 松本 敦子 主任技師 大坪 岳彦 主任技師 福井 聡子 技師 渡邊 章俊 技師 松本 千明			衛生指導課			防疫課					
企画経営室 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921			課長 廣山 健一 副課長 井田 忠裕 副課長 松木 英明 副課長兼室長 松木 英明 主幹 岡田 望 副主幹 菊地 誠一 副主幹 森田 眞岐男 主査 菊地 里佳 主査 山口 篤 副主査 猪俣 一陽 副主査 田下 健一郎 副主査 西阪 光広 副主査 丸山 武則 主幹兼室長 山田 美代子 副主幹 道本 昌信 副主幹 川村 治朗 副主幹 齊藤 公一 主査 大塚 洋功 主査 山崎 直 主査 渡辺 聡 副主査 長友 浩			衛生指導課			防疫課			南部家畜 保健衛生所 〒296-0033 鴨川市八色52 TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434		
生産振興室 043-223-2926 043-223-2939 043-223-2943			主幹兼室長 山田 美代子 副主幹 道本 昌信 副主幹 川村 治朗 副主幹 齊藤 公一 主査 大塚 洋功 主査 山崎 直 主査 渡辺 聡 副主査 長友 浩			衛生指導課			防疫課			北部家畜 保健衛生所 〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996		
衛生環境推進室 043-223-2923 043-223-2944 BSE対策本部 043-223-3084			副技監兼室長 伊藤 尚志 主幹 風間 達也 副主幹 渡辺 博剛 副主幹 永長 貴昭 技師 野中 太輔			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
(衛生班) 043-223-2923 043-223-2938			衛生班長 渡邊 和彦 副主幹 井出 基雄 主査 坂元 依子 副主査 石川 直子 技師 佐多 美香			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
中央家畜 保健衛生所 〒262-0011 千葉市花見川区三角町656 TEL:043-250-4141 FAX:043-236-0090			部署			職名			氏名			衛生指導課		
庶務課			所長 大木 雅行 次長 羽毛田 稔 主幹 小野寺 道寛			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
衛生指導課			課長 田口 俊夫 主査 金坂 俊江			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
防疫課			課長 森田 秀雄 副主幹 青木 ふき乃 副主幹 藤崎 俊治 上席専門員 乾 昭志 技師 西川 潤 課長事務取扱 羽毛田 稔 副主幹 市沢 三香 上席専門員 小川 明宏 技師 上林 佐智子			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
〒285-0072 佐倉市岩富町497 TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475			次長 陰山 潔 主幹 青木 茂 課長 原 晋 上席専門員 木下 智秀			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		
病理生化学課			課長 原 晋 上席専門員 木下 智秀			衛生指導課			防疫課			衛生指導課		

畜産総合研究センター 〒289-1113 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447			部署 生産技術部		職名 部長兼室長 主席研究員 主席研究員 主席研究員 研究員 研究員 研究員 研究員		氏名 村野 多可子 脇 雅之 高橋 圭二 齊藤 健一 新垣 裕子 赤木 友香 沼尾 真人 細野 真司 溝井 つかさ			
総務課 センター長 花澤 信幸 次長 齋藤 文雄 次長 山田 真希夫 課長事務取扱 齋藤 文雄 副主幹 玉造 信雄 主査 小川 敏夫 主査 並木 利雄 主事 丸 達也			養豚養鶏研究室		畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 〒290-0531 市原市国本602 TEL・FAX TEL:0436-96-1231 FAX:0436-96-0956		職名 所長 主幹 主査 上席研究員 上席研究員 上席研究員 研究員 研究員		氏名 杉本 裕 園原 邦治 鳥海 三佐子 山口 倫子 平尾 明 井上 貢 千葉 耕司 進藤 彰	
企画環境部 企画経営室 部長 檜山 学 部長兼室長 檜山 学 主席研究員 坂元 克弥 主席研究員 鈴木 一好 上席研究員 大久保 貞裕 上席研究員 反町 裕 研究員 西山 厚志 室長 細谷 肇 環境飼料研究室 主席研究員 杉本 清美 上席研究員 青木 大輔 研究員 長谷川 輝明 研究員 名取 美貴			畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 〒299-2507 南房総市大井686 TEL・FAX TEL:0470-46-3011 FAX:0470-46-3012		職名 所長 主幹 主席研究員 主査 上席研究員 研究員 研究員		氏名 福島 達哉 村田 宏之 山下 秀幸 石井 真利子 梶川 和彦 久保田 尚 行川 貴浩			
生産技術部 乳牛肉牛研究室 部長 村野 多可子 室長 石崎 重信 主席研究員 小林 正和 主席研究員 川嶋 賢二 上席研究員 森 知夫 上席研究員 笠井 史子 研究員 利谷 彰彦 研究員 湯原 千秋										

農業事務所名	部名	課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
千葉農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町473-2	副主幹	岩澤 進	043-300-1985	043-293-3916
		改良普及課		主任技師	松本 友紀子		
		普及指導員		渡邊 健一郎			
東葛飾農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒277-0861 柏市高田990-1 〒277-0005 柏市柏255-1	技師	野村 俊介	04-7143-4122	04-7144-8260
		改良普及課		普及技術員	羽深 真里		
		普及指導員		有路 優子			
印旛農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒285-0026 佐倉市鍋木仲田町8-1	副主幹	貝沼 宏彦	043-483-1129	043-485-9502
		改良普及課		主査	丸山 朝子		
		普及指導員		五十嵐 福男			
		普及指導員		桜井 圭			
香取農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木1250-3	主査	大澤 浩司	0478-52-9192	0478-54-5617
		改良普及課		技師	高橋 美奈子		
		普及指導員		宮本 光浩			
		普及技術員		本多 正隆			
海匠農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒289-2504 旭市二1997-1	副主幹	八木 由紀夫	0479-62-0156	0479-64-2502
		改良普及課		主査	古屋 聡子		
		普及指導員		向後 義史			
		普及技術員		平野 和則			
山武農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿1-11	主査	安川 葉子	0475-54-1122	0475-55-8614
		改良普及課		主事	飯島 浩介		
		普及指導員		伊藤 静雄			
		普及指導員		君塚 時江			
長生農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原1102-1	副主幹	鶴岡 則夫	0475-22-1751	0475-26-2234
		改良普及課		上席普及指導員	伊藤 郁子		
		普及指導員		松野 健二			
夷隅農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻14	副主査	鎌田 望	0470-82-4956	0470-82-5348
		改良普及課		上席普及指導員	林 貴雄		
		普及指導員		岩瀬 裕子			
安房農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒294-0045 館山市北条402-1	副主幹	永福 和明	0470-22-7131	0470-22-0097
		改良普及課		技師	矢嶋 真二		
		普及指導員		荒井 真澄			
		普及指導員		吉田 明広			
君津農業事務所	地域振興部	企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵3-13-34	副主幹	芦澤 尚義	0438-25-0107	0438-23-6698
		改良普及課		上席普及指導員	金子 貴一		
		普及技術員		田仲 景士郎			

東日本大震災： 義援金募金活動で『被災地を支援しようinポーク2011』

「食卓の元気は千葉県産ポークから・・・」のキャッチフレーズで開催してきた恒例のマリンイベントは12回目を迎え、5月1日(日)最大風速15.1kmを記録するなど強風に見舞われる中、QVCマリンフィールドにおいて生産者・関係者83名の参加により開催された。



多くの方にご協力いただきました
ありがとうございました

当日の入場者数は 24,323人で、ロッテ対ソフトバンク戦の試合前に、スタジアム正面特設ブースで、千葉県産豚肉を使った焼肉120kg・約1,000人分を格安にて販売した。

今回、東日本大震災被災地支援のため『被災地を支援しよう inポーク2011』と題して、募金活動をメインに企画し、焼き肉の売上金に加え多くの方からご協力を頂き、139,925円もの義援金が集まりました。

テントが飛ばされそうな中、少しでも生産現場を知ってほしいとの考えから設置した展示ブースでは、豚の品種、豚についてのQ&A、豚肉料理、豚が食べる飼料サンプル、人工授精機材などを通じて、気軽に生産者との交流も生まれ、全国第4位の養豚県「千葉」をアピール。

またTPP(環太平洋経済連携協定)について消費者の皆さんがどの程度関心があるのかを設問に加えて実施したアンケート調査、義援金に協力頂いた方には抽選で100名にロース1kg(ブロック)プレゼント、小学生を対象とした「焼肉



「被災地を支援しよう inポーク2011」スタッフ

食べて笑顔大賞」など盛り沢山の企画に加え本年度サポーター・プラチナ会員をお願いした大松、渡辺(俊)選手との記念写真、指定席での試合観戦と盛り上がるイベントとなりました。(養豚課 金杉)



ナイス君が審査員
『笑顔大賞は君だ!!』



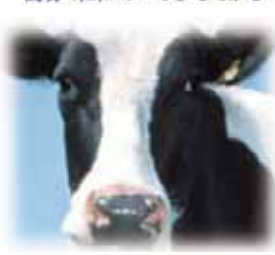
人工授精について
説明しています

TPPへの参加は断固反対します

当協会はTPP交渉対策千葉県連絡会の一員として、3月2日のTPP参加阻止千葉県民集会及び署名活動に積極的に参加しております。

TPP参加によって、国産の畜産物は壊滅的打撃を受けます。一丸となって、TPP参加を阻止しましょう。

動物 未来 みつめる ひろがる



URL:www.zenoaq.jp



日本全業工業株式会社
代表取締役社長 高野 恵一

ゼノアックはベストを尽くします。

人と動物たちの未来のために、

動物たちにも被害は及んでいます。

お祈りいたします。

被災地の一日も早い復興を

心よりお見舞い申し上げます。

被災されました方々に、

この度の東北地方太平洋沖地震により

心よりお見舞い申し上げます。

千葉県は高病原性鳥インフルエンザの終息宣言を発表

千葉県知事から4月15日高病原性鳥インフルエンザ(以下HPAIと略)の終息宣言が出されました。昨年10月北海道稚内市(かもの糞)からHPAIウイルスが発見されて以来、国内のどこにでもウイルスがいると警鐘が打ち鳴らされ、養鶏関係者一同発生防止に努めてきたところです。

しかし、その後も各県で野鳥からHPAIウイルスが発見され、ついに11月には島根県で、1月に宮崎県・鹿児島県等、2月には愛知県等の養鶏農家で発生が確認されました。

千葉県では3月13日に35千羽を飼養する採卵鶏の農家が、同ケージ内で2羽の死亡鶏を発見し、死に方が通常と異なることに疑問を感じ、直ちに管理獣医師へ通報、獣医師はインフルエンザを疑い簡易診断を行ったところ陽性であったことから、家畜保健衛生所へ通報し、早期の発見につながりました。1例目の周辺検査時に感染が確認され3月16日62千羽を飼養するブロイラー農家で2例目が発見されました。

防疫処置は早期発見・早期通報により、他農場への感染がなく約1ヶ月間で終了しました。

県の発表によりまずと消毒ポイントにおける畜産関係車両の消毒実績は延べ4,139台、防疫措置に係る動員は延べ3,714人とのことでした。この間、東日本大震災や路地野菜の放射能汚染、等の被害や停電等も重なり、防疫措置に携わった方々は大変であったと思います。

今後は、何故同時に発生したか等の感染経路の究明が待たれるところです。

現在までの家きんでの発生事例は全国で9県24農場約185万羽です。海外では韓国、中国のほか、東南アジア、南西アジアなど世界各地での発生が認められております。

畜産農家の皆様方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。(衛生環境部 薫田)

発生農場における防疫措置の経過 (千葉県農林水産部畜産課 資料)

内容等	1例目	2例目
発生月日	3月13日	3月16日
発生場所	農場管理獣医師からの通報	1例目周辺検査時に感染確認
種別	千葉県若葉区	千葉県若葉区
殺処分終了月日	3月15日	3月21日
殺処分羽数	35,500羽	62,153羽
焼却処分終了月日	3月20日	3月27日
農場消毒月日(農場防疫措置終了)	3月24日	3月24日
清浄性確認検査実施月日(半径10km内の全農場26)	3月31日・4月1日 (※4月2日、3日に全例陰性を確認)	
移動制限区域の縮小(半径10kmから5km)	4月3日	
移動制限区域の解除	4月15日(午前0:00)	

◆東日本大震災被災県の畜産物支援について◆

地方競馬全国協会の助成により、船橋競馬場はじめ盛岡、大井、浦和、川崎の5競馬場で被災県の畜産物を6月から無料配布(各競馬場2回)を行います。詳細につきましては、別途ご案内いたします。

◆東日本大震災に係る畜産生産者救済のための義援金を受け付けています◆

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。義援金は、全額、被災された畜産生産者救済のための資金として贈呈いたします。

皆様のご協力を、お願い申し上げます。

【義援金の振込先】

三菱東京UFJ銀行 本店(普通) 0904843
一般社団法人都道府県畜産振興協議会 地震義援金



次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

今回は、平成22年度の事業報告と23年度の事業計画、当NPO主催の畜産研修会等についてご紹介いたします。

1. 平成22年度事業報告

去る平成23年4月26日に平成22年度事業に関する監査を受け、承認をいただきました。

収支計算書の概要は下記のとおりです。

収入合計 2,332,919円（内、会員からの会費等は256,000円） 支出合計 2,047,610円 時期繰越金 285,309円

(1) 畜産経営支援組織連携強化事業（実務者会議は4回開催）

社団法人千葉県畜産協会の指導の下で実施した中央畜産会の畜産経営支援組織連携強化事業においては、種々の研修会等へ積極的な参加をすることで、その事業名のとおり関係団体等との連携を強化することができ、職員の指導力向上につなげることができたものと思います。主な研修は次のとおりでした。

①消費者との現地交流会（イネWCS調製作業と肉牛牧場の視察）
主催：千葉県畜産協会
期日：平成22年8月24日（火）
場所：千葉県横芝光町

④手づくり乳製品勉強会（酪農家のチーズ製造事例見学と牛乳工場の講演）
主催：手づくり乳製品勉強会
期日：平成22年12月19日（日）
場所：千葉県いすみ市・睦沢町

②平成22年度畜産研修会（新外国技能実習生の受入制度・河川堤防刈草の有効利用）
主催：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター
期日：平成22年11月26日（金）
場所：千葉市（千葉県畜産会館）

⑤先進地視察研修（コントラクタ及びTMR施設）
主催：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター・千葉県草地協会・NPO法人エコグループ市原
期日：平成23年2月4日（金）
場所：静岡県浜名酪農農業協同組合

③水田における家畜糞堆肥の利用講習会（耕畜連携の事例見学と講演）
主催：千葉県畜産協会
期日：平成22年12月9日（木）
場所：千葉県旭市干潟

⑥放牧利用現地研修会（和牛の放牧）
主催：千葉県畜産協会
期日：平成23年2月9日（水）
場所：千葉県大多喜町

(2) 生産コスト低減畜産生産技術開発推進事業

NPO法人エコグループ市原が事業主体となった当事業共同開発者の一員として参加し、計画設計・まとめ・飼養技術関係等を担当しました。初夏から夏にかけて利根川等の堤防における詳細な植生調査も実施しました。

今後の収穫時期等については、国土交通省との交渉や現地コントラクタの確保等の課題が残されております。

(3) その他（畜産サービス事業体業務支援研修会：平成23年3月）

中央畜産会主催の当研修会（岡山会場・東京会場）において、畜産経営支援組織連携強化事業における当NPO法人の支援活動について紹介する機会（岡山会場）がありましたので、当県における各組織間連携強化の事例と構想を述べてきました。

2. 平成23年度事業計画

平成23年度においては、当NPO内に専門部会を設置することで支援活動の更なる充実を図る予定です。

また、前年度に引き続いて上記の事業を実施する予定でおります。会員皆様の積極的な参加をお待ちしております。

(1) 平成23年度NPO総会

日時：平成23年5月20日（金）13:30～
場所：千葉県畜産会館

(2) 平成23年度畜産研修会

日時：平成23年5月20日（金）14:40～
場所：千葉県畜産会館
〔予定演題〕畜産等における6次産業について

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

お問い合わせは・・・ NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（社）千葉県畜産協会内）

TEL:043-242-6333

FAX:043-238-1255

正会員 58（内、団体8） 賛助会員 2（団体）



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第4号



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 畜産加工調理体験教室

平成23年1月22日(土) 午前10時～午後2時
山武郡横芝光町横芝 横芝光町文化会館

- ・(社)千葉県畜産協会主催
- ・地元銘柄そうさ若潮牛を使った調理実習、生産者と消費者との意見・情報交換
- ・一般消費者(親子)35名はじめ、関係機関等54名が参加
- ・柴会長はじめ6名の会員が調理指導やレディースの活動、千葉の畜産を紹介



おいしそうな若潮牛を使って親子で楽しく料理ができました

2 農山漁村いきいきフォーラムへの参加

平成23年2月1日(火) 午後1時～午後5時

- ・千葉県農山漁村女性団体ネットワーク主催
- ・南房総市 池田美香会員(酪農)がパネラーとして活動発表
- ・レディース会員11名参加



3 レディース事務局員(宮上氏)の送別会

平成23年2月26日(土) 午後7時～ 長生郡長生村 「太陽の里」

- ・発足当初から事務局員としてレディースに携わった宮上氏が畜産協会を退職
- ・レディース会員8名含む13名で送別の宴を開催

宮上さん お疲れさまでした☆



4 第2回地域畜産ふれあい体験交流活性化シンポジウム

平成23年3月7日(月) 午後1時～午後4時

- ・(社)中央畜産会主催
- ・山口県小学校岩永教諭及び(財)横浜市消費者協会日和佐理事長の講演
- ・柴会長、大松・関口副会長参加

活動予定

◆総会&紫陽花の宴&講演・情報交換会のお知らせ◆

平成23年度の総会等を次のとおり予定しております。

- 1 日時:平成23年6月21日(火) 11:00～15:00
- 2 会場:エストーレホテル 千葉県東金市八坂台1-8
TEL:0475-55-1111 FAX:0475-55-1112
- 3 総会 11:00～11:50
- 4 紫陽花の宴 12:00～13:30
紫陽花咲きほころぶ季節の宴 (会費3千円)
レディースメンバー提供素材を一流シェフが調理提供します。
- 5 講演・情報交換会 13:40～15:00
演題:「競い合う時代から、支え合う優しい時代へ」
講師:須藤 陽子氏(ちば畜産レディースネットワーク副会長)
会員の皆様、関係機関の皆様、そして「レディースネットワーク」に関心をお持ちの方々のご参会心よりお待ちしております。(事務局 新城)

昨年度の総会の様子



2010年 世界農林業センサス結果について(平成22年2月1日現在)

平成22年1月15日付け第17号の畜産ネットワークちばでご案内した「農林業の国勢調査」といわれる「世界農林業センサス」が実施されその確定値が平成23年3月24日に公表されました。

千葉県畜産協会では、生産者自らが結集し地場産農畜産物を販売するための取り組みを行っている(有)風土村やJA直売所旬彩館等について、消費者の現地視察や交流会等を通じて支援してきました。

この度、「Ⅱ 農山村地域調査」の「1 地域資源を活用した施設(産地直売所)」で千葉県が全国1位となりましたのでご案内いたします。

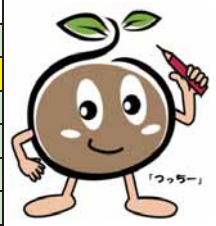
千葉県は首都圏に位置し、温暖な気候に恵まれていることでもあります、今後より一層のレベルアップに努めていただきたいと思います。(経営支援課 武田)

地域資源を活用した施設(産地直売所)数



	計	産地直売所			
		運営主体			
		地方公共団体	第3セクター	農業協同組合	その他
全 国	16,816	203	450	2,304	13,859
1 千葉県	1,286	2	10	53	1,221
2 群馬県	1,093	22	4	56	1,011
3 山梨県	910	8	8	32	862
4 北海道	854	11	17	67	759
5 神奈川県	653	7	1	159	486

ご協力ありがとうございました!!



詳しくは <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/index.html> からご覧いただけます。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

- 編集後記 -

新年度を迎え希望に満ちた4月であって欲しいとの願いは、3月11日の東日本大震災であえなく崩れ去りました。

それに加え全国各地で発生していた高病原性鳥インフルザが千葉県にも飛び火し、3月12日に実に86年ぶりの発生となりました。関係各位の懸命の奮闘によって、2戸9万7千羽の発生に封じ込め、4月15日午前零時をもって一切の移動制限が解除されたことに改めて敬意を表するものです。

思えば畜産界にとって昨年4月20日から実に暗澹とした事案の連続であります。口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、大地震、大津波、放射能汚染等、数え上げればきりがありません。いまだその爪痕は深く、身も心も、家畜、農作物、空気、水(海水)、土などあらゆるものが傷ついており、復興するには長い期間がかかるものと予測されております。

しかしながら、いつまでもその災害に押しつぶされ、意気消沈していることはできません。全国民、全農業者、全畜産農家が一体・一丸となって復興に向け取り組んで行かなければ将来は開けません。まさに「雨二モマケズ、風二モマケズ」です。

当協会(畜産ネットワークちば)も復興の一端を担うべく一生懸命努めてまいります。(事務局長 新城)

総務部	総務課	TEL 043-242-5417(代)	FAX 043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
企画経営部	企画課	TEL 043-242-6333	FAX 043-238-1255	oosaki@swan.ocn.ne.jp
	経営支援課	TEL 043-242-6333	FAX 043-238-1255	takeda@swan.ocn.ne.jp
生産振興部	酪農肉牛課	TEL 043-242-8299	FAX 043-238-1255	ogura@true.ocn.ne.jp
	養豚課	TEL 043-241-3851	FAX 043-241-3853	kato@np-chiba.jp
衛生環境部	環境指導課	TEL 043-241-1738	FAX 043-241-3853	chieishi@aioros.ocn.ne.jp
	衛生指導課	TEL 043-241-1738	FAX 043-241-3853	chieishi@aioros.ocn.ne.jp
URL http://chiba.lin.gr.jp				

東日本大震災の被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。